

## 1-3-16-2 飛騨国分寺の文化財

### 国分寺の文化財

- ①飛騨国分寺の大イチョウ
- ②国分寺三重塔
- ③国分寺表門
- ④国分寺本堂
- ⑤飛騨匠木鶴大明神像及び版木
- ⑥藤原宗安像
- ⑦飛騨国分寺塔跡

飛騨国分寺の歴史は、古く奈良時代までさかのぼる。現在、奈良時代の飛騨匠が造った建物を目にするにはできないが、境内には、七重塔の心礎や金堂の礎石（現在の本堂床下）が残り、その規模から飛騨匠の木工技術者としての技術の高さを想像することができる。

その技術は後世にも脈々と受け継がれ、室町時代には本堂が、江戸時代には三重塔が造られた。また、本堂には「飛騨匠の祖」として崇敬を集める木鶴大明神・藤原宗安像が安置され、1,000年以上にわたる飛騨匠の歴史が刻まれた場所となっている。

説明板より